

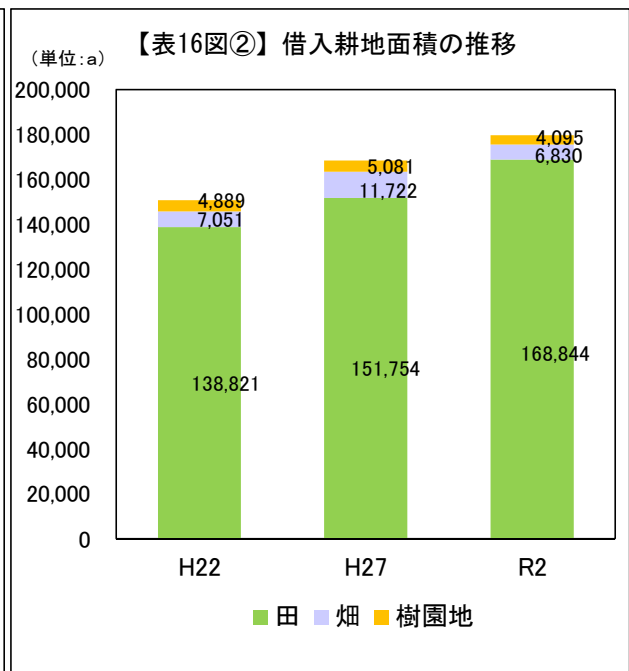
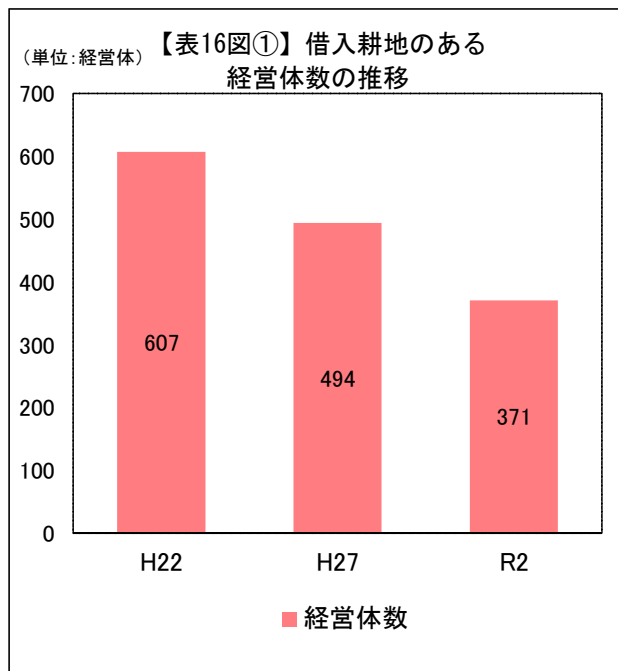
【第16表】 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積

(単位＝経営体数：経営体、面積：a)

区分	借入している耕地							
	合計		田		畑		樹園地	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
H22年度	607	150,761	476	138,821	102	7,051	95	4,889
H27年度	494	168,557	374	151,754	89	11,722	90	5,081
R2年度	371	179,769	282	168,844	67	6,830	67	4,095

※①出典は農林業センサスである。

※②各数値は各年の2月1日現在の数値である。



【第17表】 荒廃農地

(単位：ha)

区分	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
荒廃農地面積	419.5	392.5	324.6	307.9	344.5	314.6	305.5	273.3

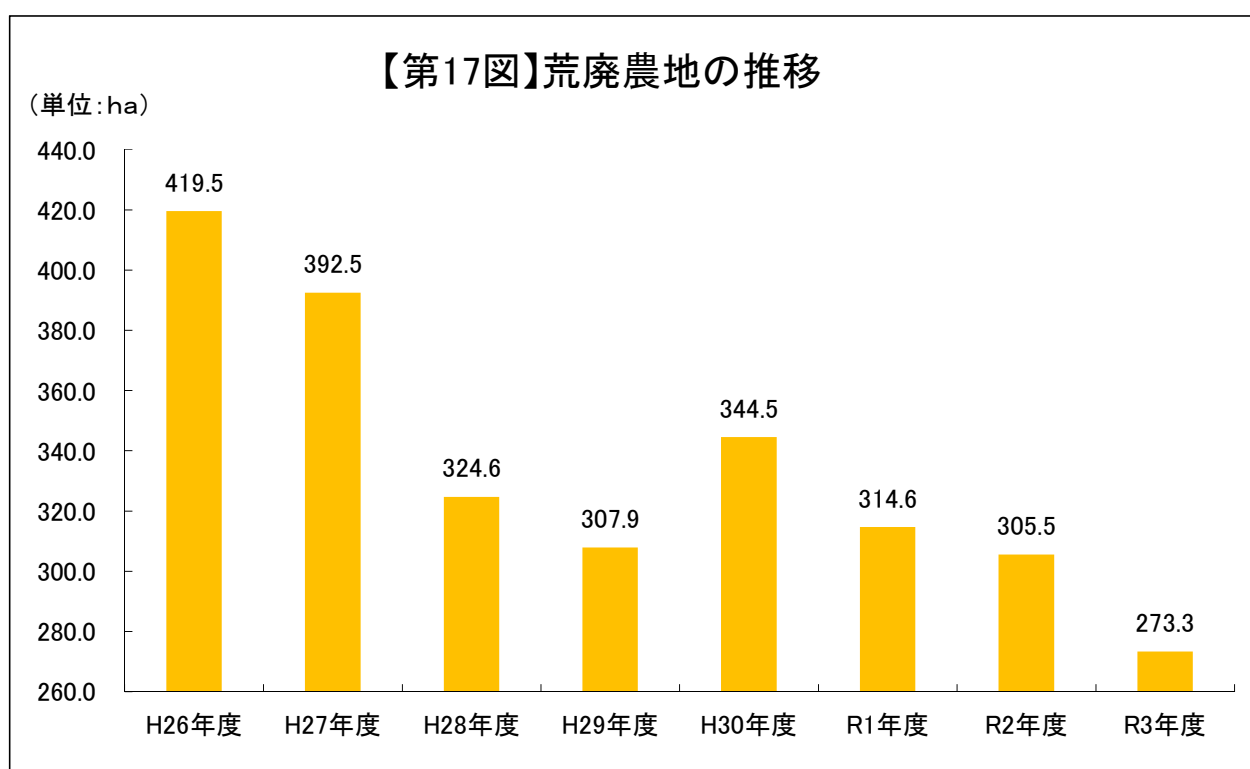
※①～R2：農業政策課調べ。荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領に基づき実施している調査の結果。

R3：農業委員会調べ。これまで農業政策課で実施していた調査が、農業委員会で実施する「遊休農地に関する措置の状況に関する調査」と一本化された。

※②H25～H29：各年1月1日～12月31日の期間に実施した調査の結果。

H30～R2：各年度11月末日時点の数値。

R3～：各年度3月31日時点の数値。



【第18表】 りんご及び水稲等の作付経営体

(単位＝経営体：経営体、面積：a)

区分		H22年	H27年	R2年
りんご	作付経営体	936	801	655
	作付面積	—	80,260	69,871
水稲	作付経営体	2,014	1,391	950
	作付面積	322,137	284,050	348,168
トマト	作付経営体	354	203	98
	作付面積	—	2,692	2,088
ピーマン	作付経営体	190	88	37
	作付面積	—	395	—
ねぎ	作付経営体	262	144	62
	作付面積	—	—	—
きゅうり	作付経営体	286	156	54
	作付面積	—	—	—
たまねぎ	作付経営体	34	22	11
	作付面積	—	—	—
花き	作付経営体	80	50	31
	作付面積	—	—	—

※①出典は農林業センサスである。

※②各数値は各年の2月1日現在の数値である。

※③上記表は販売目的で栽培している「作付経営体」及び「作付面積」の状況である。

【第19表】 米・畑作物の収入減少影響緩和対策
(ナラシ対策) 加入面積

(単位＝面積：ha、加入率：%)

区分	H30年	R1年	R2年	R3年
加入面積	1,147.0	802.9	921.8	612.5
コメ	1,104.5	760.0	917.1	607.5
麦	35.1	35.0	4.7	5.0
大豆	7.4	7.9	0.0	0.0
加入率 ※③	40.2	27.8	31.6	22.7

※①農業政策課調べである。

※②各数値は各年の7月末現在の数値である。

※③加入率は主食用作付面積に対する比率である。

※④端数処理のため合計値が一致しない場合がある。

【第20表】地域振興作物（高収益作物）の作付面積

＜青森市総合計画前期基本計画第1章第2節第2項の指標＞

(単位：ha)

区分	H30年	R1年	R2年	R3年
作付面積	36.4	34.5	39.5	37.3
重点作物	21.2	20.4	21.7	20.6
花き	1.5	1.4	1.4	1.4
その他作物	13.7	12.7	16.4	15.3

※①農業政策課調べである。

※②重点作物：トマト、ミニトマト、ピーマン、ねぎ、きゅうり、バサラコーン、たまねぎ

※③端数処理のため合計値が一致しない場合がある。